

# 日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区  
まちづくりセンター

発行責任者  
林 堅太郎

編集責任者  
野々口 義信

日吉台学区  
個人情報保護方針  
取り扱い文書

## 複合化案で市へ改築要望

### 地域活性化拠点として存続めざす

日吉台小を複合化施設として建て替える。日吉台学区自治連合会（丸山郁夫会長）と日吉台小学校学校運営協議会（野々口義信会長）は、校舎老朽化と小学校統合一体化問題が浮上している日吉台小について、地域活性化の拠点になる複合施設としての改築と存続を求め、佐藤健司大津市長に対し要望書を提出することになっている。

## 学区自治連合会と小学校学校運営協議会連名

日吉台学区では、少子高齢化で若年人口の減少化が顕著。園児の減少で、市立日吉台幼稚園が隣接

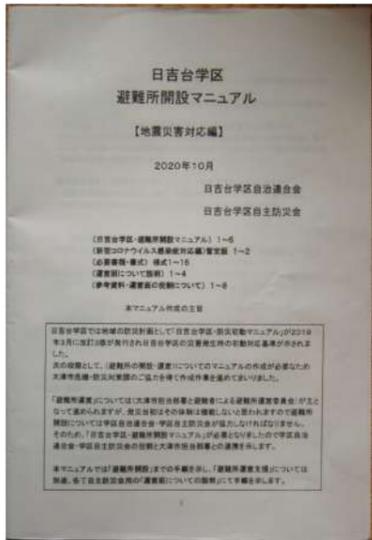
の坂本幼稚園と統合され廃園。日吉台小学校も大津市教委が平成28年12月打ち出した「大津市立小中学校規模適正化ビジョン」で、統合一体化問題が浮上している。幼児教育施設については、日吉台幼稚園園後、学区の運動がみのり、今春幼稚園跡地に認定こども園が開設されることになり、住民を安堵させている。

「日吉台小の複合化施設」の改築案は、昨年10月「学区まちづくりカンパニー」の事務局会議で提起。日吉台小の統合一体化で、地域の中心である教育文化施設がなくなることを強く懸念、存続にあたっては、単に存続させるのではなくさまざまな施設との複合化で新たな地域の活性化拠点づくりを目指すものとして、学区自治連合会と同小学校学校運営協議会（日吉台小コミュニティスクール）に働きかけ、運動の方向性、趣旨について了承を得た。

## 日吉台小



複合化で改築要望が出される日吉台小校舎



作成された避難所開設マニュアル

## 巨大地震とコロナに備え

## 避難所開設マニュアル作成

学区自治連合会と学区自主防災会は、災害発生時の避難所開設に関する手順を記載した「日吉台学区避難所開設マニュアル・地震災害対応編」と、現コロナ感染症環境下での対応を記載した「日吉台学区避難所開設マニ

アル・新型コロナウイルス感染症対応編暫定版」を作成、各丁自治会、各丁自主防災会等に配布した。災害発生時、避難所は基本的に大津市の指示に基づき、大津市職員で構成される初動支所班が

日吉台市民センターと日吉台小学校に開設することになっている。しかし大規模地震災害などの場合は、市内全域が混乱状態に陥り、大津市の指示や初動支所班の派遣などの体制が機能しない可能性が大きく、地域の担

者が避難所開設などの業務を大津市に代わって実施するための学区独自の開設マニュアル作成が必要になってきた。

開設マニュアルには、避難所の開設を地域が代行する場合、避難者の安



## 注意すべき睡眠障害講座開催

### 学区社協、老く連共催で

学区社会福祉協議会（呉屋之保会長）と学区老人クラブ連合会（野々口義信会長）が共催した、「大津市医師会・市社会福祉協議会コラボ出前講座・注意すべき睡眠障害」が11月21日、日吉台市民

センターで開かれた。コラボ出前講座には、滋賀医科大学精神医学講座助教の角幸頼精神科外来医長が講演。新型コロナウイルス感染症が続くなか、約60人の参加者らはマスク着用が義務付けられ出席。



マスク着用が義務付けられ日吉台市民センターで開催される睡眠障害講座

角医師は、不眠症、睡眠時無呼吸症、レム睡眠行動障害の症状や治療法などを分かりやすく紹介、

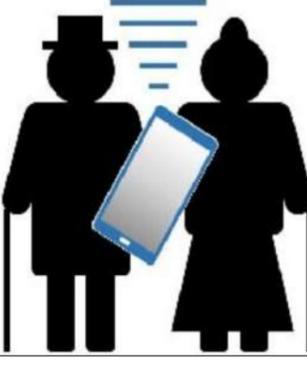
「年齢によって睡眠の味が変わる」など健康には質の良い睡眠が大切であることを訴えていた。

民に対し次のような協力を要請している。

- ①避難所の鍵を開ける②安全を確認する③設備・ライフレインを確認する④本部を設置する⑤初動支所班へ連絡する⑥避難者の受け入れスペース等を確保し、誘導する⑦避難者数を把握する⑧避難者への説明を行う⑨避難所運営委員会への協力をを行う⑩といった手順とそれぞれを担当者と確認項目などが記載されている。
- 開設の担当者には主に自主防災会のメンバーが割り当てられているが、同会では地域住民もこれらの手順を理解した上で立ち上げに協力を求めている。
- また、同マニュアルの新型コロナウイルス感染症対応編では、避難所での感染症拡大を防ぐため、避難住

## つながる安心

お出掛けの際は  
スマホ・携帯を持ちましょう



安易に猫にエサをやらなくて！

2匹の成猫から1年で20匹に増える繁殖力があるとされています

イサやりと飼育管理

はセットで行ってください

# 見事なダイコン



ダイコンを収穫する日吉台小の子どもたち

## 日吉台小ふれあい農園

日吉台小学校コミュニティスクールの事業、同小体育館西側にある「ふれあい農園」で、12月8日、2年生の子どもたちが、ダイコンの収穫作業を行った。

この農園は、学区社会福祉協議会のボランティアグループ事業のひとつで、平成11年2月に発足。ふれあい農園グループの人たちが、子どもたちといっしょに野菜の種や苗の植え付けや管理、収穫などをして同小の伝統行事。

ダイコンは、今年9月17日、子どもたちが種まきを行ったもの。その後、毎日の手入れが行われ、12月8日の収穫作業が行われた。

2年生22人の子どもたちはこの日、農園畑前でふれあい農園代表の森育さんからダイコンの食料としての性質や収穫のやり方を学んだあと、畑の中へ。2、3人がかりで協力して大きく育ったダイコンを引っっこ抜き、歓声をあげていた。

## 2年生児童が収穫

子どもたちが種まきを行ったもの。その後、毎日の手入れが行われ、12月8日の収穫作業が行われた。

日吉台自主防犯推進会（山下英子会長）は、日吉台小児童の通学時の見守り活動などを行うスクールガードメンバーと学区の安心、安全をパトロールする青パト隊員を募集している。

スクールガードは、日吉台小学校児童登下校時の通学路の安全確保、パトロールを行うボランティア。学区の高齢化などで

## スクールガード、青パト募集

日吉台自主防犯推進会

メンバーが減少しており、新たな担い手を募集している。

児童のおおよその登校時間は7時半〜8時15分ごろ、下校時間は学年により14時50分〜15時50分ごろとなるが、メンバーに登録されると詳しい予定が書かれた「学校だより」が小学校から届けられる。パトロールの場所は通学路が望ましいが、通学路以外でも腕章を着用して自宅周辺に立ってもらえるだけでも良く、また毎日でもなくても出来る範囲で協力して頂きたいという。

青パトは、青色回転灯を装備する自動車を使用し、回転灯を点灯させて行う自主防犯パトロール。公共団体や自治会で所有している専用の車両だけでなく、自家用車として利用している車両を用いて、パトロールを行うことが可能。一般自動車への回転灯装備は法令で禁止されているが、自主防犯パトロール運動が高まり、所定の届出のうえ認可を受ければ青色回転灯を自動車に装備できるようになった。問い合わせは山下会長（0901211610832）まで。

## コロナ予防 マスク姿でプレー

## 日吉台グラウンドゴルフ大会開催



コロナ感染予防のためマスク姿でプレーする参加者

日吉台グラウンドゴルフクラブ（北海彰会長）の「秋季グラウンドゴルフ大会」が11月23日、日吉台小学校グラウンドで開催された。勤労感謝の日この日、雲間に時折日が差すままのコンディション。

大会には、同クラブ会員、特別参加の学区体育振興会員ら男女合わせ38人が参加。新型コロナウイルス感染症の影響が心配される大会とあって戸外の大会だったが、参加者全員がマスク姿での出場。グラウンドいっぱいには設けられたコースに腕と技を競い、見事なホールインに、マスク越しに歓声をあげていた。

## 合唱団練習見学会

## 参加者募集

コーラスに興味ある人に体験してもらいたい、と日吉台合唱団（堀和子団長）は1月16日午前10時45分、日吉台市民センター大会議室で、日吉台合唱団「練習見学会」を開く。

日吉台合唱団は、19

82年、公民館活動の一つとして地域の歌の好きな女性を中心となって結成。常に自分らしいハーモニーを目指し地域での活動や滋賀県合唱祭出場など幅広い活動を展開している。毎週土曜日の午前中、日吉台市民センターで練習。団員は40歳代から80歳代、地元日吉台や大津市だけでなく、彦根市、甲賀市、野洲市、京都市からの参加者もいる。練習見学会参加希望は、事前に田中さん（077157814763）まで。

## 集まれ「ハンター」つかまるな!

## 寺子屋プロジェクト☆マナ☆ビバ

この寺子屋プロジェクトは、学区社会福祉協議会の支援を受け、学区の子どもたちを対象に行われている事業。今年度は、コロナウイルス感染症の影響で活動を見合わせていたが、屋内に閉じこもりがちの子供たちに

（鬼）から逃げ切れれば賞品ももらえるという。主催者では、ハンター役になる保護者を募集している。問い合わせは黒井志穂さん（0901999710899）まで。

## 訂正とおわび

12月1日号「ふれあい給食」の記事中給食部の「川添節子部長」とあるのは「川越節子部長」の誤りでした。また、「創刊5周年によせて」の記事で、「8月号を休刊」としたのは誤りで、「6月号を休刊、6月、7月号の合併号」に訂正し、おわびします。

日吉台新聞編集部